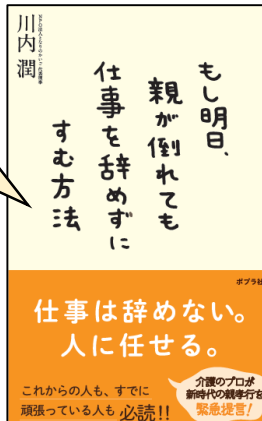


もし明日、 親が倒れても 仕事を辞めずにすむ方法

NPO 法人となりのかいご 代表理事 川内 潤 著

書評、取材
拡散、大歓迎



▼著者プロフィール

1980年生まれ。上智大学文学部社会福祉学科卒業。老人ホーム紹介事業、外資系コンサル会社、在宅・施設介護職員を経て、2008年に市民団体「となりのかいご」設立。2014年に「となりのかいご」をNPO法人化、代表理事に就任。ミッションは「家族を大切に思い一生懸命介護するからこそ虐待してしまうプロセスを断ち切る」こと。誰もが自然に家族の介護に向かうことができる社会の実現を目指し日々奮闘中。

▼目次とあらすじ

序章 もし、いまあなたのもとに介護がやってきたら？

第1章 介護離職は誰のためにもならない——10万人が介護で仕事を辞める時代

第2章 なぜ、介護を自分だけで抱え込むと失敗するのか——プロのケアと介護に対する心がまえ

第3章 介護の予兆を見逃さず、事前に備えるための技術

——不安解消チェックシートと地域包括支援センター

第4章 家族でもめない役割分担と決め方——介護の体制づくり

第5章 介護の本質はチームマネジメントにあり——ケアマネージャー選びと運営方針

終章 「終の棲家」選びで失敗しないために——悪徳老人ホームの見抜き方と理想の看取り

補論 介護で役立つ豆知識 / あとがき 育ててもらった恩は、直接の介護では返せない

「介護離職10万人」時代の新常識。

講演依頼殺到の介護のプロが、新しい親孝行を緊急提言！

介護で仕事を辞める人の数は現在約10万人。もはや多くの人にとって無関係の話ではありません。

いざというときは自分が親の面倒を？ 仕事を辞めなきゃいけないの？ そんな不安がある方はぜひ

本書を手にとってください。介護といわれると制度や施設の分類など難しいイメージがありますが、

それらは専門的で流動的な知識。本当に必要なのは予兆を察知し、相談先を知り、介護休暇を上手に

使うなどの実践的な知恵です。本質的なアドバイスをもとに、前向きに備えていきましょう。